

嚥下フレイルコース はじめました

軽度の嚥下障害や低栄養の疑いがある患者さんに対して、嚥下フレイルコースを設定することになりました
「嚥下ができていないか気になる」「最近やせてきた」などの患者さんがいらしたら
下記へご連絡の上、耳鼻咽喉科・頭頸部外科のご予約をお取りください
多職種による評価・説明・指導により、誤嚥性肺炎や低栄養の予防に寄与できれば幸いです

初期評価

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査等により嚥下機能の評価を行います

リハビリテーション科

言語聴覚士が嚥下機能や嚥下に関する身体や呼吸の力を評価します
評価結果に応じたトレーニングを指導します

◆外来栄養指導◆

管理栄養士による食事指導があります

◆体成分分析◆

※場合によっては採血や頭部MRI・頸部CT等も行います

2週間後 この間、ご自身でトレーニング・栄養指導内容を実施

中間評価

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

これまでの評価や生活での実践の状況を総合的にみて、中間評価を行い、
質疑応答や改善点の検討を行います

約10週間後 この間、ご自身でトレーニング・栄養指導内容を実施

終了時評価

◆嚥下造影・体成分分析◆

◆外来栄養指導◆

食事内容や食事量の変化を確認し、提案します

リハビリテーション科

初期評価からの変化を評価します

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

嚥下内視鏡検査を再度実施し、他部門の報告をふまえ、
初期評価時からの変化・改善を総合的に評価、ご説明を行います

評価終了後、紹介医の先生方に報告書をお送りいたします

〈ご連絡先〉

医療機関の方：医療連携室(03-3202-8066)

患者さん：予約センター(03-3202-7494)

令和7年1月24日

国立国際医療研究センター病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療科長 二藤隆春

リハビリテーション科診療科長 藤谷順子

栄養管理室長 土屋勇人